

さつまいも年間計画

1～3月	計画	8月	管理
4月	種芋購入 畝立て	9月	つる返し
5月	定植	10月	収穫準備
6月	除草 マルチ張り	11月	収穫
7月	土寄せ	12月	販売会

実施項目

1.めずらしい品種の栽培（パープルスイートロード）

パープルスイートロード

紅芋で甘みもあり、料理やお菓子にむいている。

アントシアニンを含んでいる。

アントシアニンの効果は、血液さらさら効果があり、血圧を下げる。

2.さつまいも栽培

・トンボ栽培

古くからある種芋を直接植え付ける方法。

利点

苗床や育苗に要する経費削減。

初期育成が旺盛で生産力が高い。

問題点

多くの種芋が必要。

種芋が再肥大しやすい。

・栽培工程

定植の仕方

一本丸々種芋を定植するのと、半分に切ったものを定植。

ホットキャップ

地温を高めて根の成長をよくする。

雨、風を防ぐ効果や、害虫から種芋を守る。

マルチング

地温を高める。

雑草の発生を抑える。



トンボ栽培



ホットキャップ

つる返し

つるが畝を覆って広がってきたら、つるを空いている畑に返す。

収穫

10月下旬に実施した。一本植えは40本。半分植えは51本収穫できた。

	600g以上	400g以上	200g以上	100g以上	合計
一本	2本	8本	22本	16本	48本
半分	4本	6本	15本	15本	40本
合計	6本	12本	37本	31本	88本

天日干しをして表面を乾かし、新聞に包みダンボール箱に入れ、風通しのよい所に保存する。

寒さに弱いので常温で保管します。特に、冬はさつまいもにとって気温が低すぎるので、室内で保存する。



新聞で包む

販売準備

450g 150円と600g 200円で価格を決定。



450g - 150円



600g - 200円

3. 実習生産物販売会

12月8日販売会が行われた。

始まった直後からいもの所にはなかなかお客さんが集まってきませんでした。450gのほうが人気があり、早く売り切れました。



販売会の様子

問題点

収穫した芋の保存方法が悪かったので、収穫したものの半数が腐ってしまった。



まとめ

- ・計画から実施するまでに時間がかかった。
- ・初めてのプロジェクトでわからないことが多くて先生に頼っていた。
- ・販売会では芋の個数が少なく、宣伝もほとんどしていないのでお客様の反応はあまりよくなかった。しかし、完売することができた。
- ・販売会で「芋は家で作っている」という理由であまり売れない。
- ・半分植えのほうが大きい芋も採れ、収穫量も多かった。

課題

- ・もっと栽培方法を自分で調べて、問題が発生しても対応できるようにする。
- ・芋が腐っていた原因は、収穫後に天日干しをしなかったことで芋が湿ったままになっていた。保存するときの土が湿っていた。保存場所の気温が低かったことも原因の1つである。
- ・販売会の前に、もっと宣伝すべきだった。
- ・家で芋を作っている人にも、購入していただけるように工夫する。
- ・もっと地域の人に認知してもらえるように、販売会の事前にポスターや、チラシなどを作る。